備後は今年10周年

2024年度（令和6年度）

第1回 びんご圏域活性化戦略会議

2024年7月11日（木）

目次

1　挨拶
- 福山市長（会長挨拶）
- 竹原商工会議所会頭（新委員挨拶）

2　圏域形成の経過、第３期びんご圏域ビジョンの策定

3　これまでの取組の成果等

4　企業共通の課題：人材確保

5　2024年度の主な連携事業

1　挨拶

２　圏域形成の経過、第３期びんご圏域ビジョンの策定

（1）圏域形成の経過

備後圏域は、将来の人口減少社会を見据え、広域的な課題の解決に着手するため、2011年に備後圏域連携協議会を設立。
総務省が提示した連携中枢都市圏構想と方向性が一致し、全国のトップを切って2015年に取組をスタート。

1963年	7月	備後地区工業整備特別地域に指定 （三原市、尾道市、福山市、府中市、笠岡市、井原市）
1965年	2月	日本鋼管（NKK）福山製鉄所開設
1994年	4月	福山・府中広域行政事務組合（～2008年）
2006年	5月	備後地区工業整備特別地域　指定解除
2011年	12月	備後圏域連携協議会（首長会議）の設立
2012年	7月	防災協定の締結
	11月	こども発達支援センターの共同運営開始
2014年	4月	連携中枢都市圏構想の提示（総務省）
	5月	モデル構築事業への応募
	6月	モデル団体として採択
2015年	2月	連携中枢都市宣言
	3月	連携協約締結 第1期びんご圏域ビジョン策定（計画期間：2015～2019年度）
	4月	連携事業スタート
2020年	3月	第2期びんご圏域ビジョン策定（計画期間：2020～2024年度）
2023年	4月	備後圏域連携推進室を福山市に設置
2024年	4月	竹原市が備後圏域に加盟
		第3期びんご圏域ビジョン策定に向けた動きの本格化 （計画期間：2025～2029年度）

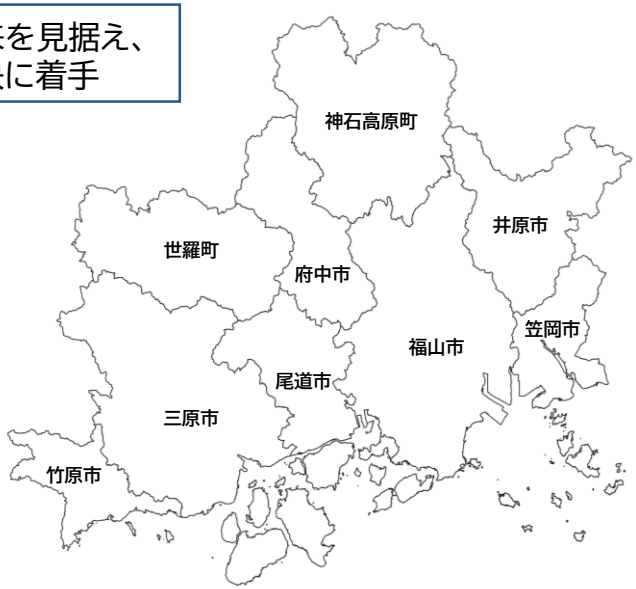
ほぼ、今の広域の形が作られる
（一部市町を除く）

人口減少社会の到来を見据え、
広域的な課題の解決に着手

方向性が一致

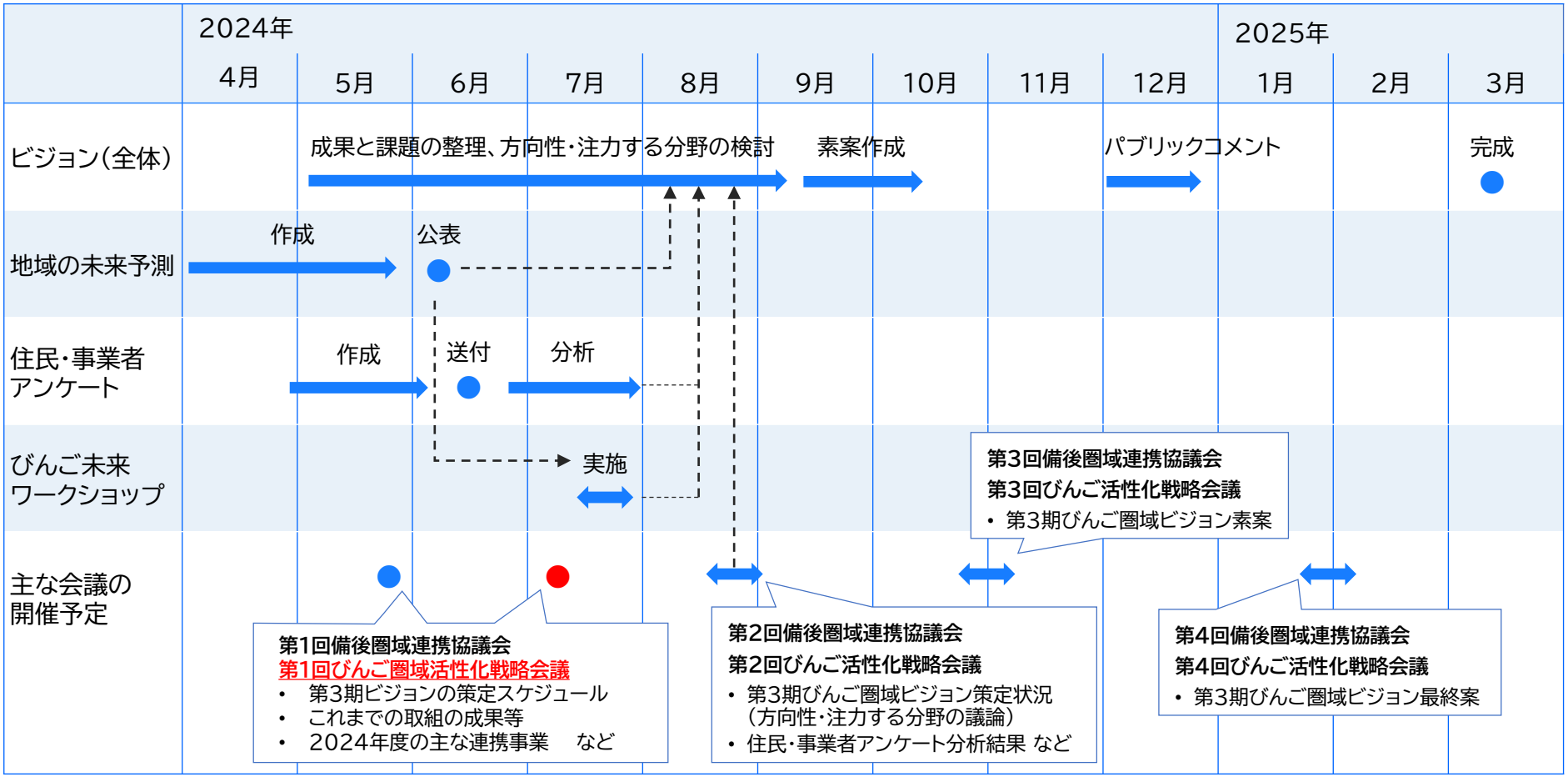
全国のトップを切ってスタート
各市町の議決を経て締結

取組開始から
10年目



（2）第3期びんご圏域ビジョンの策定

① スケジュール



第3期ビジョン策定のPoint

「地域の未来予測」を活用した「びんご未来ワークショップ（住民の声を聞く場）」を開催するなど新たな手法を導入（全国初の取組）

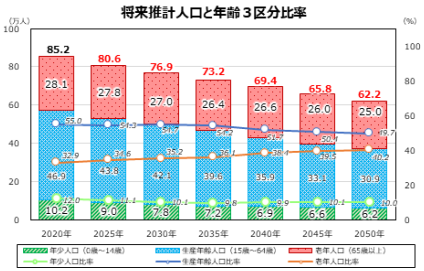
② 新たな手法の導入

地域の未来予測

人口や施設・インフラのほか、子育て・教育、医療・介護などの分野において、地域が直面する変化や課題の長期的な見通しを、客観的データに基づいて整理したもの

人口

- **偏後圏域の人口は、2030年には80万人を、2040年には70万人を下回り、2050年には62.2万人となる。**
- **老年人口は、2020年以降減少傾向に転じる一方、老年人口比率は2020年以降も増加する。**
  - 圏域人口
    2020年：85.2万人⇒2050年：62.2万人（27.0%減少）
  - 老年人口
    2020年：28.1万人⇒2050年：25.0万人（11.0%減少）
  - 老年人口比率
    2020年：32.9%⇒2050年：40.2%（7.3ポイント増加）

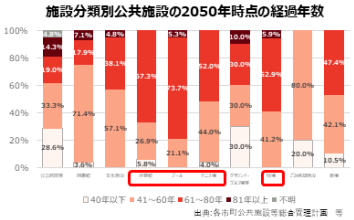


出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5(2023)年推計）」、総務省「令和２年国勢調査」

施設・インフラ

- **体育館やプール等では、多くの施設が2050年に竣工から61年以上経過する。**
  - 竣工から61年以上経過する施設の割合
    体育館 ： 67.3%
    プール ： 79.0%
    テニス場 ： 52.0%
    球場 ： 58.8%

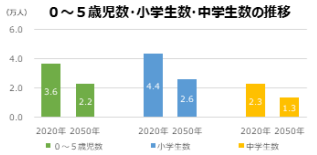
※長寿命化に向けた工事の実施状況については考慮していない。



出典：各市町公共施設等総合管理計画 等

子育て・教育

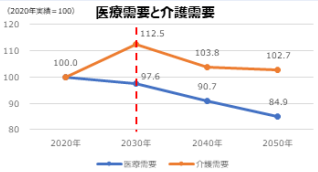
- **０～５歳児数、小学生数、中学生数のいずれにおいても、2020年と比べ2050年は減少する。**
  - ０～５歳児数
    2020年：3.6万人⇒2050年：2.2万人
  - 小学生数
    2020年：4.4万人⇒2050年：2.6万人
  - 中学生数
    2020年：2.3万人⇒2050年：1.3万人



出典：総務省「令和2年国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5(2023)年推計）」

医療・介護

- **医療需要は、2050年には2020年と比べ、15.1%減少する。**
- **介護需要は、2030年をピークに減少するが、2050年においても2020年と比べて100%以上となる。**
  - 医療需要
    2020年⇒2050年の増減率：15.1%の減少
  - 介護需要
    2020年⇒2030年の増減率：12.5%の増加
    2020年⇒2050年の増減率： 2.7%の増加



出典：総務省「令和2年国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5(2023)年推計）」、日本医師会「地域医師情報サイト」

経済

- **就業者数は、2040年には2020年と比べ、約7.１万人減少する。**
- **就業率は、2040年には2020年と比べ、5.9ポイント増加する。**
  - 就業者数
    2020年：39.6万人⇒2040年：32.5万人（7.1万人減少）
  - 生産年齢人口
    2020年：46.9万人⇒2040年：35.9万人（11.0万人減少）
  - 就業率（就業者／生産年齢人口）※就業者は全年齢
    2020年：84.5% ⇒2040年：90.4%（5.9ポイント増加）

出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5(2023)年推計）」、独立行政法人 労働政策研究・研修機構「労働力需給の推計 ―全国推計（2018年度版）を踏まえた都道府県別試算―」

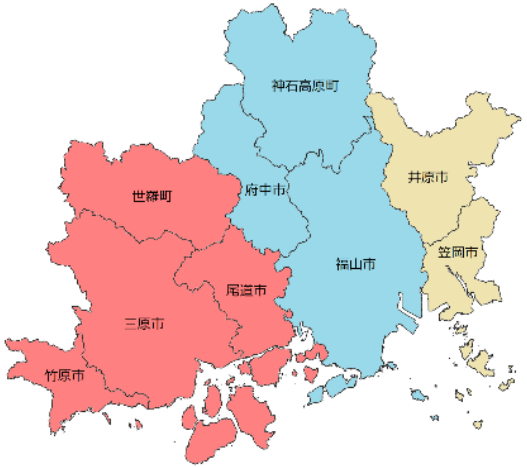
びんご未来ワークショップ（住民の声を聞く場）

- 圏域住民とともに、「地域の未来予測」から想定される課題や、必要な連携、めざす未来像などを議論
- 意見については、第3期ビジョンの方向性などに反映

【開催場所、回数】
圏域内3か所で開催（福山市、三原市、井原市）

【対象者・人数】
高校生以上の圏域住民　1会場20名程度（合計60名程度）

103名で実施



3ブロックに分けて開催

■：福山市役所
7月15日（月・祝）

◆：三原市役所
7月20日（土）

●：井原市 地場産業振興センター
7月21日（日）

３　これまでの取組の成果等

（1）これまでの主な取組

連携中枢都市圏構想の取組は、「経済」「都市機能」「住民サービス」の3つの柱で推進
地域経済の活性化や医療、子育てなど、市町共通の課題解決に向けて連携を強化

※各事業の後ろに該当する柱を〈経済〉〈都市〉〈住民〉と表記。

第1期ビジョン：2015～2019

【連携の土台づくり】

- ○ 圏域の各市町、産学金官民が議論できる体制づくり（研究部会、各分野のワーキングの設置）
- ○ 広島県・岡山県が参加する医療連携会議の再開

【共通する地域資源の磨き上げ】

- ○ 備後圏域ワインプロジェクト 〈経済〉
- ○ 備中備後ジャパンデニムプロジェクト 〈経済〉
- ○ 備後フィッシュ（地魚のブランド化）〈経済〉

【単独自治体では実施が困難な事業の実現】

- ○ 福山ビジネスサポートセンターFuku-Bizの共同運営 〈経済〉
- ○ こども発達支援センターの共同運営 〈都市〉
- ○ 医療連携の強化（岡山県の保健医療計画へ地域枠卒業医師の配置を反映、広島県ナースセンター・サテライト福山の誘致を実現など）〈住民〉
- ○ 福山未来エナジー（株）の設立 〈住民〉

【圏域の拠点機能強化】

- ○ 福山市民病院の機能強化 〈都市〉

第2期ビジョン：2020～2024

新型コロナの影響下：2020～2022

【新型コロナの影響下における連携推進】

- ○ 中小企業のデジタル化支援（びんごデジタルラボ）〈経済〉
- ○ 人材シェアリングの促進 〈経済〉
- ○ 食を活用したマイクロツーリズム（びんごい～つ）〈経済〉
- ○ 行政のデジタル化（RPAやチャットボットなどの導入ノウハウ共有）〈住民〉
- ○ 医療版ワーケーションの推進 〈住民〉

【連携強化による圏域全体の行政サービス向上】

- ○ 保育所等の広域入所 〈住民〉
- ○ 救急相談センター事業（＃7119）〈住民〉
- ○ 消費生活相談の連携 〈住民〉
- ○ ふくやま環境美化センターの整備（福山市・府中市・神石高原町）〈住民〉
- ○ 水道事業における水質管理業務の共同実施（福山市・井原市）〈住民〉

【圏域の拠点機能強化】

- ○ 福山市立大学の学部新設に向けた取組〈都市〉

【民間の活動促進】

- ○ 備後圏域ワインプロジェクト（ワイナリーなどの広がり）〈経済〉
- ○ 備中備後ジャパンデニムプロジェクト（デニムのセレクトショップ開設）〈経済〉

（2）主な取組の成果

① 経済

※下線：民間主体の動き

備後圏域ワインプロジェクト

- 特区を活用した事業参入しやすい環境づくり（2015年度～）
- 福山大学や商工会議所等と連携し、備後福山ワイン振興協議会を設立（2018年度～）
- 行政と事業者で連携した「備後・福山ワインフェス」の実施　（2018年度～）
- 福山商工会議所と事業者で連携した「ワインdeバスツアー」の実施（2020年度～）

※ 福山市や府中市で新たなワイナリー開業に向けた動きが活性化

産学官の強みを生かした連携

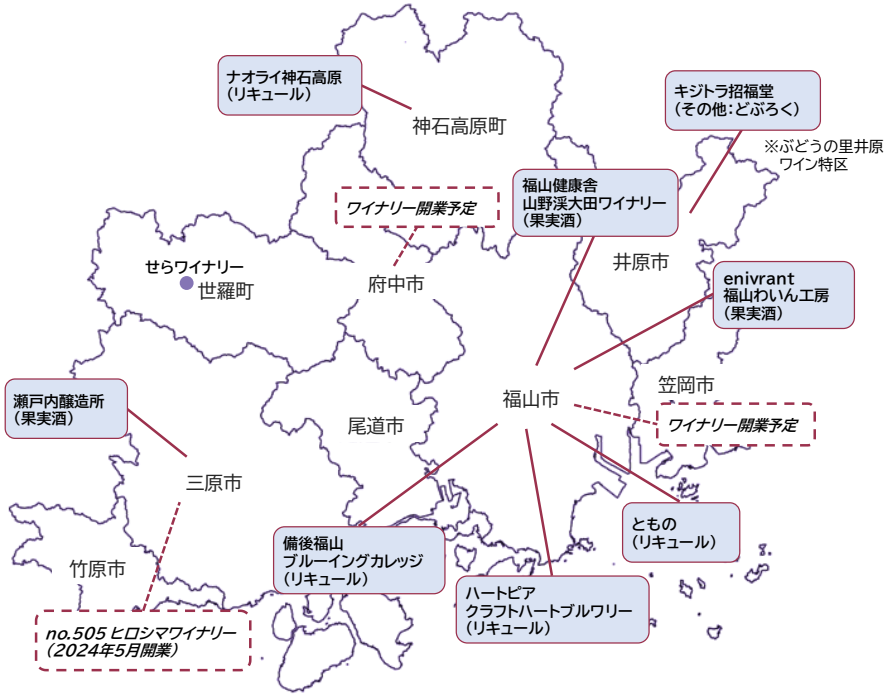
福山商工会議所
- 設備投資等に係る融資制度の紹介など事業参入への支援
- 「ワインdeバスツアー」などイベント開催

福山大学
- バラ酵母などの研究
- 人材育成
  → ワイナリーへの就職

ワイナリー等
- 委託醸造
- 栽培や醸造等のアドバイス

福山市
- 特区の活用
- 農地の紹介・マッチング

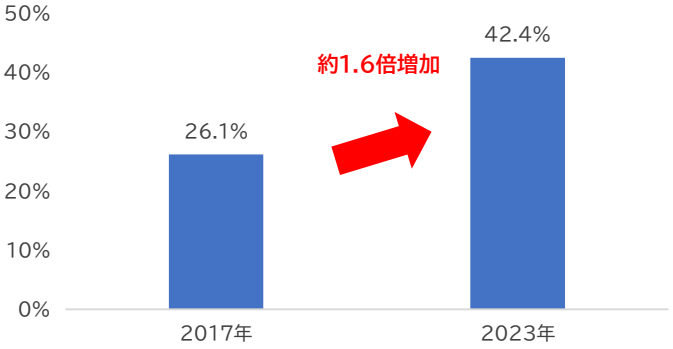
ワイナリーなどの広がり



備中備後ジャパンデニムプロジェクト

- 情報発信（デニムマップやHPの作成など）（2016年度～）
- 販路開拓支援（海外展示会への出展、ブランドとのマッチング事業など）（2018年度～）
- 繊維産地継承プロジェクト「HITOTOITO（ヒトトイト）」の人材確保に向けた取組（2018年度～）
- 「ジャパンデニム」ブランドの立ち上げ（2018年度）
- デニムのセレクトショップ「FUKUYAMA MONO SHOP」の開店（2020年度）

デニムの認知度（福山市内）



繊維産地継承プロジェクト
「HITOTOITO」（ヒトトイト）

- 工業用ミシンを使ってジーンズが1本縫えるようになる「デニムスクール」を定期開催
- 卒業生は、縫製工場、デザイナー兼職人として独立など、産地に就職する
- ワークショップ、企業研修、産地ツアーの受入れなども実施

「ジャパンデニム」ブランド

- 東京：GINZASIXに旗艦店がオープン。
- 製品に記載されることの少ない中間工程（BtoB）の企業名と産地名を製品に明示（産地の見える化）
- 生地見本市「ミラノ・ウニカ」に出展するなど、国内だけでなく海外へも展開

圏域のデニム関連商品を集めた
FUKUYAMA MONO SHOP

参加企業数：53社
- 山陽染工（福山市）
- カイハラ（福山市）
- 坂本デニム（福山市）
- 青木被服（井原市） など

➡ 産学官が連携したプロジェクトを進め、**民間主体の取組へと展開**

中小企業のデジタル化支援（びんごデジタルラボ）

- 企業が抱える課題の解決に役立つ、セミナーや事例紹介を実施（2021年度～）
- 企業がICTの導入や活用について相談できる体制を整備（2021年度～）
- 企業向けデジタルツール展示会・商談会「びんごデジタルラボEXPO」を開催（2023年度～）

びんごデジタルラボ

○ 相談件数（累計） 180件
○ セミナー等
開催回数（累計） 79回
参加者数（累計） 1,095名
○ 参加者の声
✓ デジタル技術を体験できてよかった
✓ 実際に体験したことで、今までの考え方や思いが変わった
✓ 自社の課題が解決できた

びんごデジタルラボEXPO

○ 出展企業数 30社
○ 参加者数 240社 485名
○ 参加者の声
✓ 福山市内でこれまでになかった展示会が開催されてよかった
✓ たくさんの会社と情報交換ができた
✓ 地場の企業間同士の連携にも繋がる場だと思う

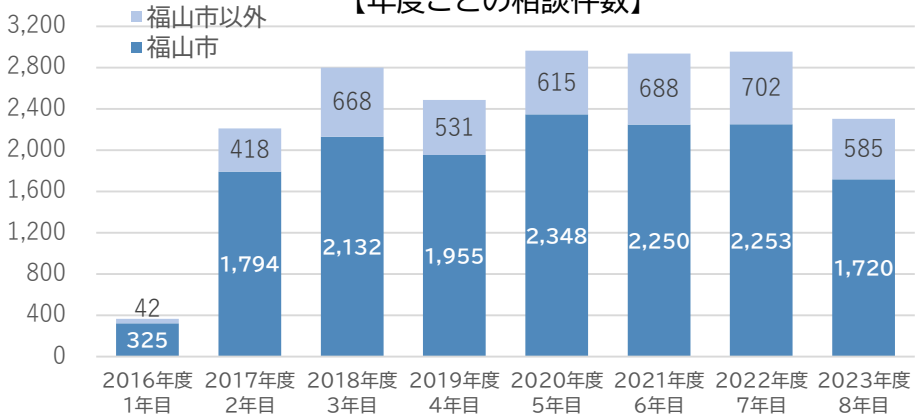
福山ビジネスサポートセンターFuku-Bizの共同運営

- 売上向上、創業支援に重点を置いた備後圏域の産業支援機関を開設し、質の高いマーケティングや販路開拓、ブランディングなどを提案（2016年度～）

【2023年度実績】

- 相談件数：2,305件
- 売上向上率：84.7%
- 創業件数：26件

【年度ごとの相談件数】



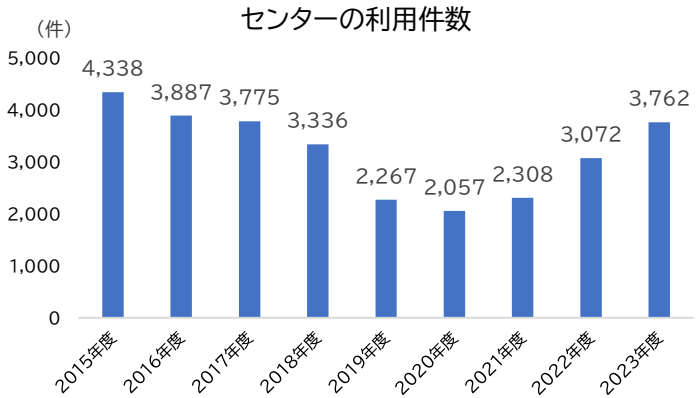
✓ 創業90年超の老舗書店と老舗飲料メーカーをマッチング
✓ 林芙美子の絶筆にちなんだ「尾道文学サイダー」を開発、定番品に次ぐ売上に

➡ デジタル化や売上向上の支援体制を構築するなど、**単独の自治体では実施が難しい事業を実現**

② 都市機能

こども発達支援センターの共同運営

- 医師や保健師等を増員し、診療体制を強化(2022年度～)
- オンライン診療を導入(2023年度～)
- 児童精神科・精神科を開設(2024年度～)



＜連携中枢都市が拠点機能を高める取組＞

福山市民病院の機能強化

- 圏域の基幹病院として、計画的な施設更新や高度医療機器の導入・更新（2015年度～）
- 周産期母子医療センターの開設（2026年度予定）

福山市立大学の学部新設に向けた取組

- 新学部設置基本構想を策定（2023年度）
- デジタル人材等の育成を行う情報工学部を新設(入学定員:80人)（2027年度開設予定）

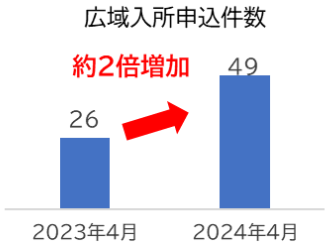
③ 住民サービス

医療連携の強化

- 県境を越えた医療連携会議の再開（2017年度～）
- 看護職や備後圏域で生活し働くことの魅力を伝えるサイト「びんご看護ネット」を開設（2017年度～）
- 広島県ナースセンター・サテライト福山の誘致を実現（2019年度～）

保育所等の広域入所

- 広域入所の要件を、圏域で統一して緩和（2024年度～）



救急相談センター事業（＃7119）

- 電話による救急医療相談に対して、看護師が専門的なアドバイスを行う（救急車の必要性、適切な医療機関など）（2024年度～）

【2024年度実績(4～6月)】利用件数:1,689件

＜個別の市町間で協議を進め、連携した取組＞

ふくやま環境美化センターの整備

- 福山市・府中市・神石高原町の燃やせるごみ等を処理する焼却施設を整備（2024年8月本格稼働）

➡ **拠点機能の強化**を進めるとともに、連携によって**住民生活を支えるサービスを充実**

（3）進行する人口減少と広域連携の必要性の高まり

備後圏域連携中枢都市圏の取組開始から約10年の間で、

- 行政主導から民間主体の取組への展開
- 中小企業への支援の充実
- 医療や子育てなど住民生活を支えるサービスの充実
- 施設や事務の共同化

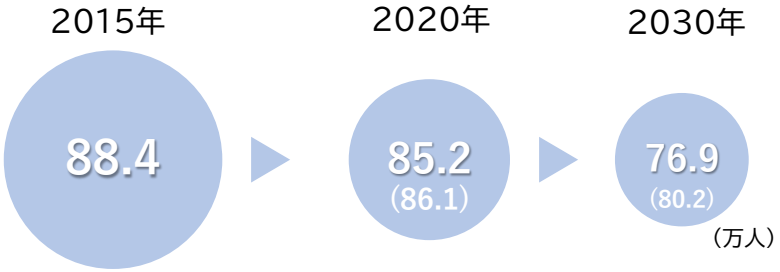
などを実現

繊維産地継承プロジェクト
「HITOTOITO」（ヒトトイト）

しかし、備後圏域では、

- 「地域の未来予測」で示されたように、**人口減少がこれまでを上回るペースで進行**（少子化や若者流出の加速）
- 分娩取扱医療機関が急速に減少するなど、**単独自治体では解決が困難な課題**が生じている

備後圏域の人口（2030年は推計値）



※（　）は、前回推計値（2018年社人研推計）

これまで以上に、広域連携の必要性は高くなる

➡ 第3期ビジョンの策定に向け、広域でとりくむべき分野を精査

連携分野　経済（地域資源の活用、雇用、観光）、環境、子育て・教育、医療・介護、防災、公共施設・事務の共同化　など

※下線はこれまで効果的に連携できているもの

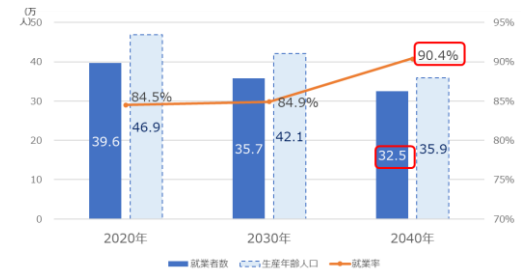
参考

国が示す各分野を基本に将来推計等を行い、各分野の2050年時点の状況等を整理

分野	整理事項
人口	✓ 生産年齢人口は2050年に34.1%減少し，将来の担い手不足が深刻化
経済	✓ 国が示す成長予測の実現のためには、2040年に生産年齢人口の90.4%に当たる32.5万人の就業者が必要
観光	✓ 全国的にインバウンドの回復が進み、旅行消費額も過去最高となっている
環境	✓ 国は、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて取組を進めている
子育て 教育	✓ 0～5歳児は2050年に38.0%減少 ✓ 生産年齢人口は2050年に34.1%減少
医療 介護	✓ 老年人口の減少により医療需要は減少 ✓ 現在、医師数は全国や広島県・岡山県と比較して不足している ✓ 介護需要は2030年をピークに減少するが、2020年比で100%以上を維持
施設 インフラ	✓ 多くの公共施設において、2050年に竣工からの経過年数が61年以上となる

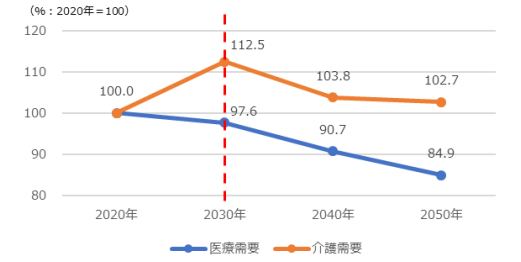
【将来予測(地域の未来予測)】

○ 将来必要な就業者数・就業率



○ 0～5歳児数
2020年:36,289人 → 2050年:22,483人
○ 小学生数
2020年:43,687人 → 2050年:26,030人
○ 中学生数
2020年:22,531人 → 2050年:13,321人

○ 医療・介護需要

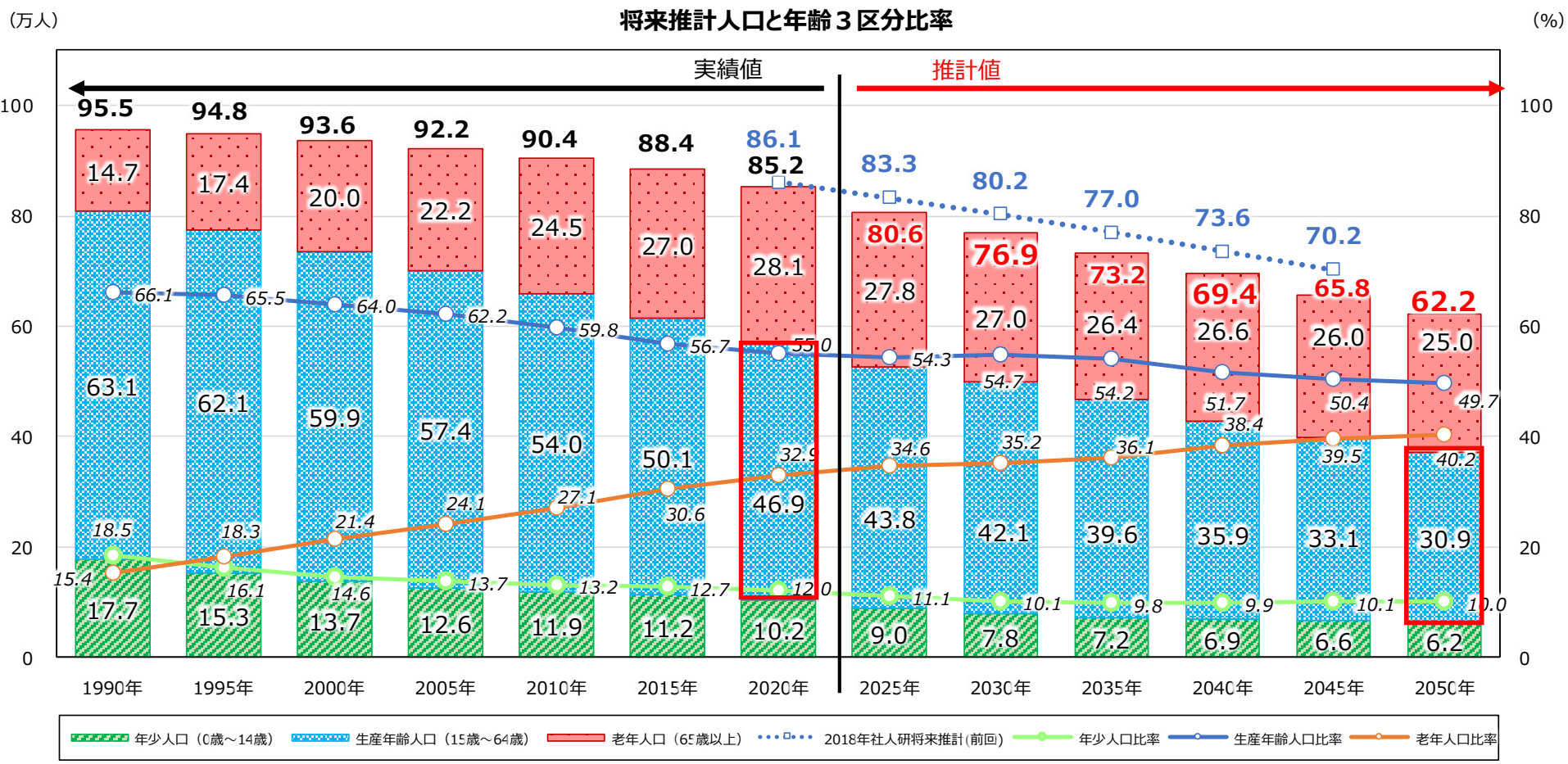


○ 公共施設
2050年には築年数61年以上の施設が増加
例) プール:73.7%
体育館:67.3%
球場　:52.9%　など

４　企業共通の課題 ：人材確保

（1）人材確保を取り巻く状況

① 将来推計人口 （地域の未来予測）

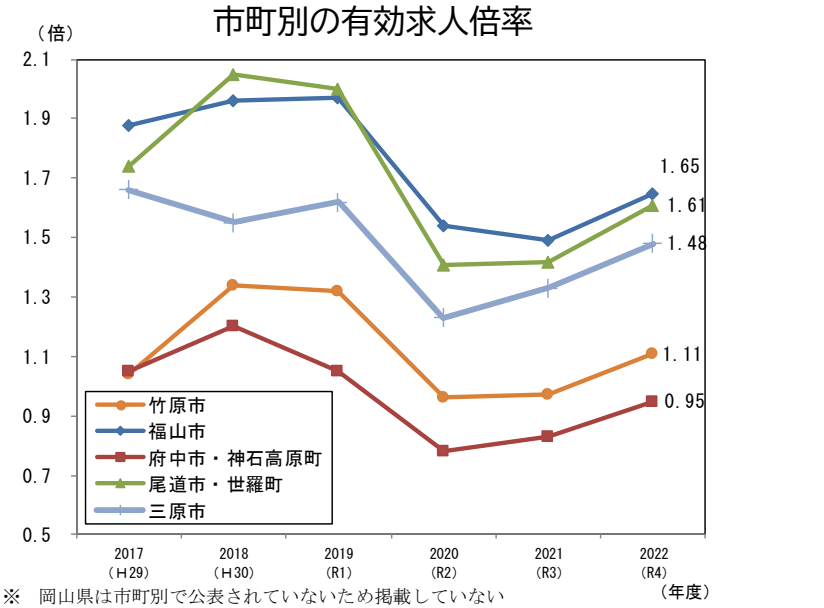


※年齢「不詳」の者の数は、不詳以外の年齢3区分の構成比に応じたあん分等により補完している（以下同じ。）。

（出典）国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）」、総務省「国勢調査」

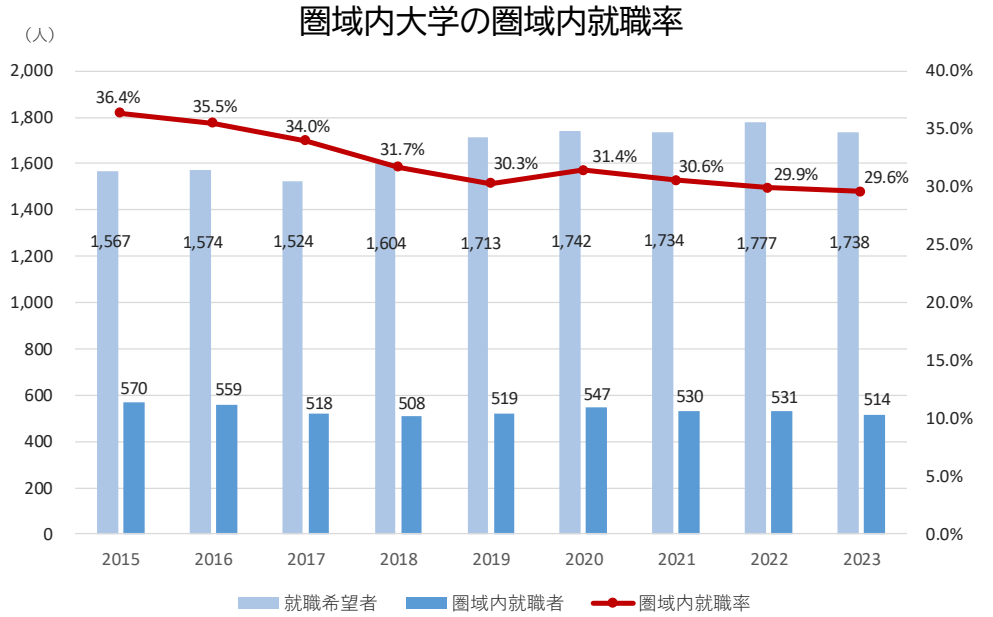
- ✓ 備後圏域の人口減少はこれまでを上回るペースで進むことが予想され、2030年には80万人を、2040年には70万人を下回り、2050年には62.2万人となる。
- ✓ **2020年に46.9万人だった生産年齢人口は、2050年には30.9万人**となり、将来の担い手不足が深刻化する。

② 圏域内地元就職の状況等



※　岡山県は市町別で公表されていないため掲載していない

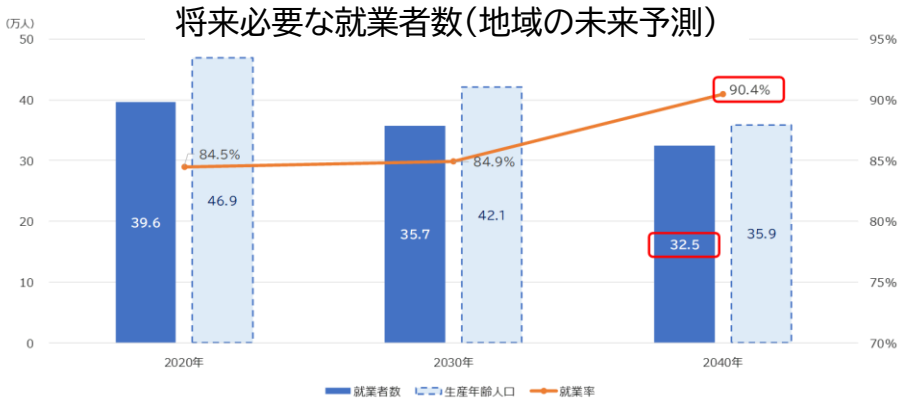
（出典）広島労働局「管内の雇用情勢」



（出典）福山市資料より作成

- ✓ 有効求人倍率は、新型コロナの影響により大幅に低下したが、2021年以降上昇傾向にある
- ✓ 圏域全体で働き手が不足する状況が続いている

- ✓ 就職希望者は増加傾向にあるが、圏域内就職率は減少傾向にある



- ✓ 地域経済の活力を維持するためには、2040年時点で、生産年齢人口（15歳～64歳）の90%にあたる32.5万人が就業しなければならない

（出典）国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）」、独立行政法人 労働政策研究・研修機構「労働力需給の推計―全国推計（2018年度版）を踏まえた都道府県別試算―」

➡ 地域経済の活力維持に向けては、<u>若者定着の促進のほか、高齢者や外国人など多様な人材の活躍も必要</u>

③ 就活中・就職後の意識変化（大学4年生等・社会人1年生）

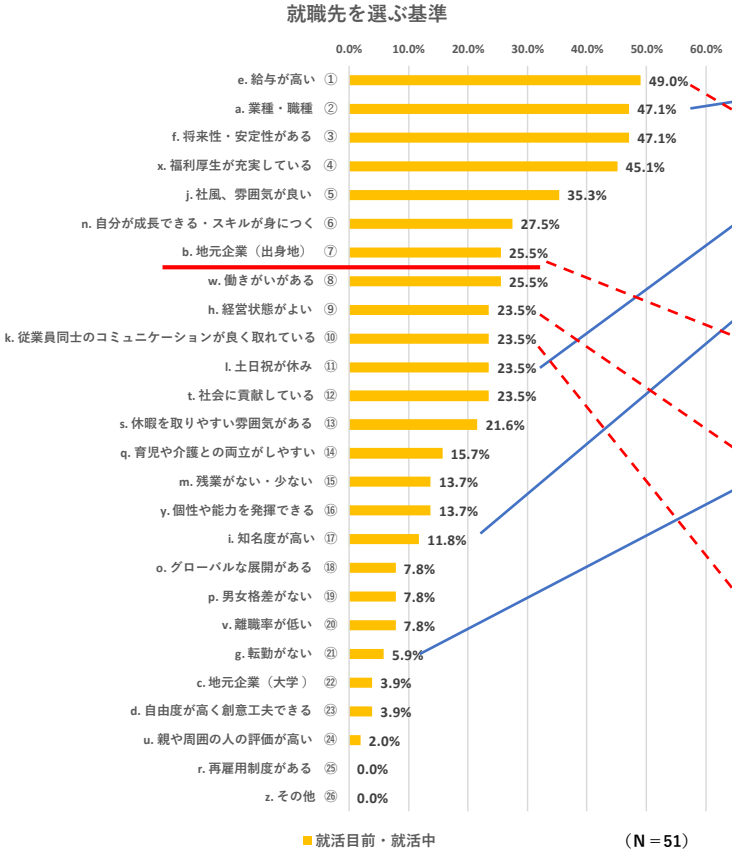
就活目前・就活中（大学4年生・大学院生）、就職後（社会人1年目）における意識変化をアンケート調査（web）

対象：2021年度 福山ふるさと応援パック送付者（福山市出身で広島県外在住の学生）　実施期間：2024年6月17日～23日

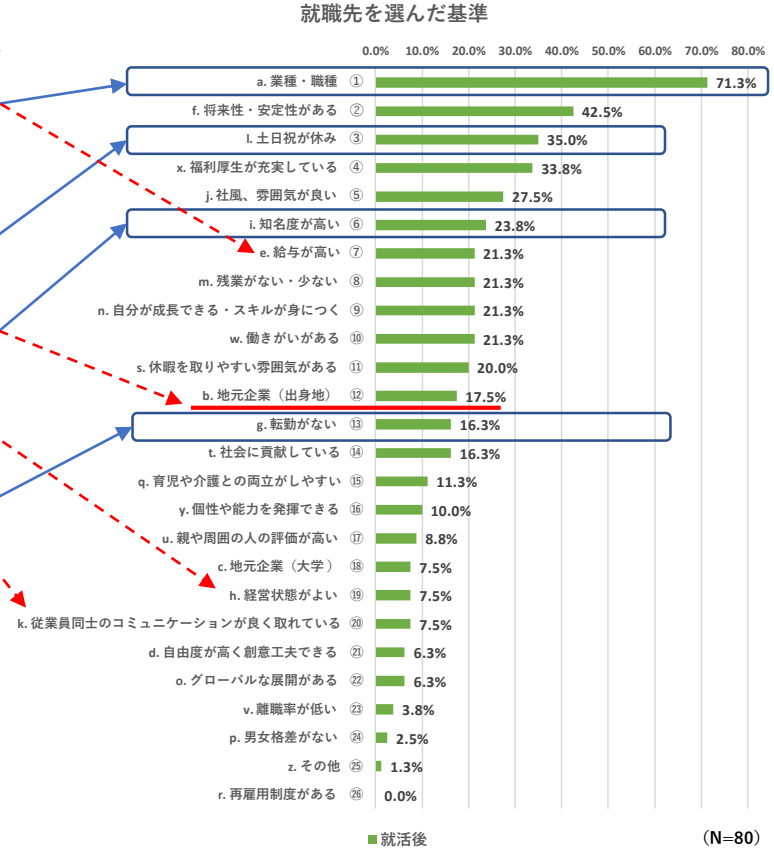
Q　就職先を選ぶ基準（複数回答可）

- ✓ **「地元企業（出身地）」**の回答は、就活目前・就活中：7位、就職後：12位であり、**就職後に順位が低下**。
- ✓ 就職後に**順位が大きく上昇**した項目は、「**土日祝が休み**」（11位→3位）、「**知名度が高い**」（17位→6位）、「**転勤がない**」（21位→13位）である。
- ✓ 一方、就職後に**順位が大きく低下**した項目は、「**給与が高い**」（1位→7位）、「**経営状態がよい**」（9位→19位）、「**従業員のコミュニケーションが良くとれている**」（10位→20位）である。

就活目前・就活中（大学4年生・大学院生）



就職後（社会人1年目）



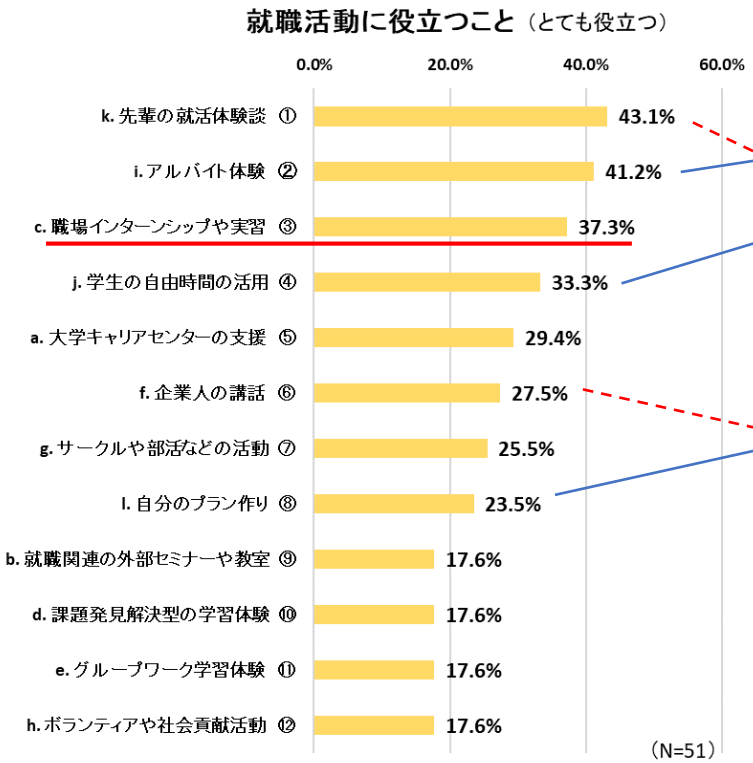
※社会人1年目回答者の内訳

居住地	回答者数
備後圏域	18
広島県（備後圏域除く）	11
岡山県（備後圏域除く）	9
東京圏	14
大阪圏	16
名古屋圏	4
四国地方	3
九州地方	1
海外	1
その他	3
計	80

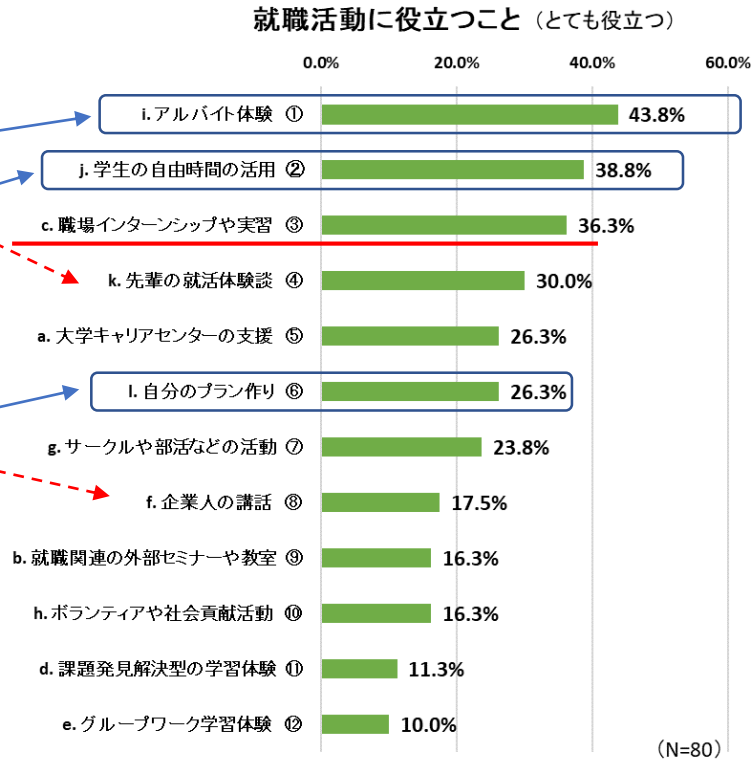
Q　就職活動で役立つこと

- ✓ 就職後に順位が上昇した項目は、「アルバイト体験」（2位→1位）、「学生の自由時間の活用」（4位→2位）、「自分のプラン作り」（8位→6位）である。
- ✓ **「職場インターンシップや実習」は、順位（3位）の変動はなく、上位のまま**である。
- ✓ 一方、就職後に順位が低下した項目は、「先輩の就活体験談」（1位→4位）、「企業人の講話」（6位→8位）である。

就活目前・就活中（大学4年生・大学院生）



就職後（社会人1年目）



（2）戦略会議委員の意見（事前集約）

Q 地元定着や地元回帰のために有効な取組

【戦略会議委員の意見】※下線：意見について関連する事業があるもの

○ 情報発信の強化
- 企業の魅力を中・高校生など早い段階で周知（出張企業ガイダンス　等）
- 都市部での合同企業説明会
- 親世代・祖父母世代、関東・関西の大学等に向けた情報発信（仕事、暮らし）　など

○ 学生との交流促進
- 地元高校と地域の連携支援
- 学生とのフィールドワーク
- 給与ありのインターンシップの実施　など

○ 働きやすい職場環境の整備
- 福利厚生などの充実　など

○ 経済的支援
- 奨学金返還支援制度の拡充
- 就職活動に係る交通費や転居費用等への支援、住環境の提供（Uターンして3世代同居・近居する場合の支援）　など

○ 暮らしの魅力を高める取組
- 生活環境の充実（子育て支援、福祉、文化 など）

○ 保育所等の広域入所
- 広域入所の要件を圏域で統一して緩和

○ 病児・病後児保育の広域利用
- 施設型：圏域住民を対象とする施設を拡大中（2024年度～）
- 非施設型（ベビーシッター訪問）：福山市の事業から圏域市町への拡大を検討（2024年度 圏域市町を対象とした実証事業）

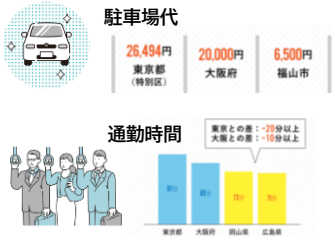
参考 【左記分野の主な取組】

○ 高校生及び高校生保護者向けの企業・職業説明会
- 圏域内企業が参加
- 福山市内の高校1・2年生に業務内容などを紹介

○ 福山・府中合同企業説明会（新卒向け・中途向け・オンライン）
- 福山市・府中市の企業が参加
- 新卒向けは大学3・4年生など、中途向けは転職希望者・一般求職者、オンラインはU・Iターン就職希望者などを対象に業務内容などを紹介

○ 学校と企業をつなぐプロジェクト【広島銀行】
- 中学校1年生から高校2年生の間、企業説明会や会社見学、職場体験などを通じて、地元定着につなげる取組　（対象：銀河学院中・高等学校）

○ びんごライフHP（仕事や暮らしの情報発信）
- 圏域内企業の従業員インタビュー、東京等と比較した暮らしの情報



○ U・I・Jターン就職の支援
- 圏域外の大学を卒業し、圏域内の企業に就職する学生に対して　就職活動に係る交通費を補助（2024年10月受付開始予定）

対　象：圏域外の大学生（卒業見込み、圏域外在住）
補助額：上限16,000円（首都圏在住者）
　　上限20,000円（首都圏以外の圏域外在住者）
要　件：圏域内企業への内定、福山市内への居住

※県の補助制度と共同で実施
※圏域内の実施市町：三原市、尾道市、竹原市、笠岡市、井原市（要件に違いあり）

Q 多様な人材が活躍するために必要な取組(外国人や高齢者など)

【戦略会議委員の意見】 ※下線:意見について関連する事業があるもの

■外国人への対応

○ **相互理解を高めるための取組**
- 事業主への講習会(コミュニケーションの取り方、事例共有など)
- イベントや地域行事などでの交流機会の創出
- 相互の食文化体験　など

○ **日常生活への支援**
- 大学と企業が連携した日本語教室の開設
- 相談窓口の設置
- 住まいへの支援　など

○ **経済的支援**
- スキルアップや語学検定などへの助成
- 当地での勤務を前提とした留学生への給付型奨学金の創設　など

○ **その他**
- 親善友好都市を活用した人材受入れ
- 就労ビザの条件緩和　など

■高齢者への対応

○ **柔軟な雇用条件の提供**
- フルタイム以外での雇用など無理なく働ける環境整備
- 定年制の見直し　など

○ **マッチングの仕組み構築**
- 有資格者などの掘り起こし
- 高齢者の個別スキルの把握
- リスキリングの促進

参考 【左記分野の主な取組】

○ **備後圏域多文化共生推進ビジョンの共同策定**
- 多文化共生社会の実現に向けて、生活圏が重なる備後圏域で理念・方向性を共有し、今後の施策に繋げていく

○ **外国人生活情報リーフレットの作成**
- 日常生活に必要な行政サービスや災害情報の入手方法を記載したりーフレットの作成

○ **日本語学習支援体制の拡充**
- 各市町で実施する日本語学習支援ボランティア養成講座の参加者を圏域に拡大

○ **外国人留学生向け合同企業説明会**
- 圏域内企業が参加
- 備後圏域への就職を検討している外国人留学生に、業務内容などを紹介

整理中 【外国人材の地元定着に向けた福山市の取組】

○ **技能実習生の監理団体との意見交換**

○ **商工会議所と連携した外国人材のニーズ調査・市内企業への就職促進策の構築**

5　2024年度の主な連携事業

民間主体の取組

○ シロギスの完全養殖と商品化【福山大学】

- シロギスの養殖技術開発に取り組み、「びんごの姫」として商標登録
- 「海鮮寿司 しまなみ」と連携し、尾道市因島特産のハッサクと掛け合わせた新たな商品を開発
- 福山市内の店舗で販売

※詳細は別紙

○「d design travel」との連携による情報発信【「合同会社legato」・「TEMPO, 」】

- 各都道府県の魅力を発信する「d design travel」広島号の出版に合わせ、備後圏域の魅力を発信

※d design travel：都道府県の土地に長く続く「個性」「らしさ」を、デザイン的観点から選びだして観光ガイドとしてまとめたもの（発刊：D&DEPARTMENT PROJECT）

備後圏域の小冊子制作

d design travel 広島号にのせて、備後のものづくりを全国に発信

※画像は冊子作成のイメージ

制作部数：初回1万部（5千部を冊子に挟み込み、残りは地域で活用）

対象エリア：備後地域（三原市、尾道市、福山市、府中市、竹原市、世羅町、神石高原町）

発行：2024年9月下旬

体裁：A5サイズ、24ページ

出版記念イベント

34県目の広島号出版記念
トークイベント・展示販売

開催日：2024年9月下旬（予定）
会　場：iti SETOUCHI

D & D ショップ

冊子に掲載されたものを
見て・買える

開催日：2024年10月ごろ（予定）
会　場：ONOMICHI U2

ものづくりのまち・備後圏域の
地域産業と旅をコネクトする新地域発の活動

産業のデジタル化支援

○ 中小企業のデジタル化実装支援（びんごデジタルラボ）

- 備後圏域の中小企業を対象に、デジタル化に関するセミナーや事例紹介を実施。
- デジタル化で働き方を変革した企業の現地見学会や**産業支援機関と連携し、ツールの体験型セミナーを開催**。また、参加した企業のツール導入を伴走支援する。
- 企業向けデジタルツール展示会・商談会「びんごデジタルラボEXPO」を開催。

びんごデジタルラボ＿企業現地見学会

○ AIビジネスキャンプの開催

- 備後圏域の企業と**AI活用に知見を持つ圏域外の人材をマッチング**し、企業の業務で活用する事例創出に向けたワークショップを開催。事例の情報発信によりAI活用の機運醸成を図る。

びんごデジタルラボ＿体験型セミナー

➢ 企業向けデジタル展示会・商談会「びんごデジタルラボEXPO（エキスポ）」の開催について

- 多数のIT企業等の情報を収集でき、マッチングを促進する中小企業向けデジタル展示会を開催

➢ **開催日**

2024年（令和6年）10月3日（木）

➢ **場　所**

広島県立ふくやま産業交流館（ビッグ・ローズ）　Dホール

➢ **内　容**

- デジタル化に関するソリューション（デモ機等）を展示
- 出展企業と情報交換が可能なコミュニケーションブースを設置
- 基調講演などのステージイベントを実施

2023年度びんごデジタルラボEXPO

カーボンニュートラルの推進

○ 脱炭素推進会議の発足

- 各市町の削減目標や取組状況などの共有
- 課題を踏まえた有効な施策の研究（PPA、Jクレジットなどの事業化の可能性について意見交換）
- 脱炭素施策の進め方について議論

➡ 備後圏域で共通認識をもち、カーボンニュートラル達成に向け、市町が連携した取組を実践

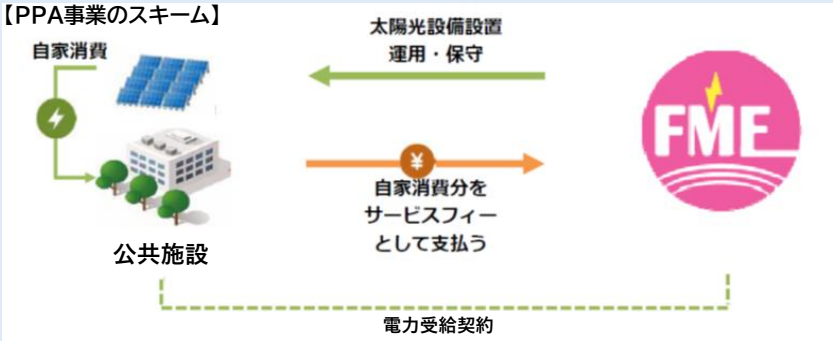
脱炭素推進会議の様子

【参考】2024年度新規事業

○ PPAモデル等による太陽光発電設備の導入（福山市）

- PPA事業者による公共施設（3交流館）への太陽光発電設備の導入に関し、費用の一部を補助（補助率1/2）
- 遊休施設への太陽光発電設備の導入を検討

【PPA事業のスキーム】



○ ブルーカーボン活用調査研究事業（福山市）

- 市沿岸域における藻場や水環境の現状・課題を把握するなど、ブルーカーボン・クレジット制度の導入可能性を調査（福山港カーボンニュートラルポート関連事業）

○ 家庭用LED照明器具等買替補助事業（世羅町）

- 家庭における照明器具をLED照明器具に替えようとする者に対し、器具の設置や電球の購入に要する費用の一部を補助（補助率1/2）

○ 省エネ行動モニター推進事業（世羅町）

- 2024年10月～2025年9月の1年間における家庭での電気・水道・ガスの使用量を把握し、その減少割合に応じ、環境関連グッズを交付

【参考】その他各市町の主な事業

- ○ 脱炭素社会推進事業補助金（三原市）
- ○ 公共施設のゼロカーボン推進事業（尾道市）
- ○ ゼロカーボン（脱炭素化）の推進（尾道市）
- ○ 充電インフラ設備整備事業（府中市）
- ○ CO2排出量見える化を踏まえた経営改善支援（福山市）
- ○ 事業者向け省エネ診断受診経費の補助（福山市）
- ○ 公共施設LED化事業、学校施設LED化事業（竹原市）
- ○ 再生可能エネルギー普及促進事業（世羅町）
- ○ エコタウン等普及促進事業（神石高原町）
- ○ スマートエネルギー導入補助金（笠岡市）
- ○ 公共施設の屋根貸し及び土地貸し等による太陽光発電推進事業（笠岡市）
- ○ 暮らし向上スマートエネルギー導入補助金（井原市）